

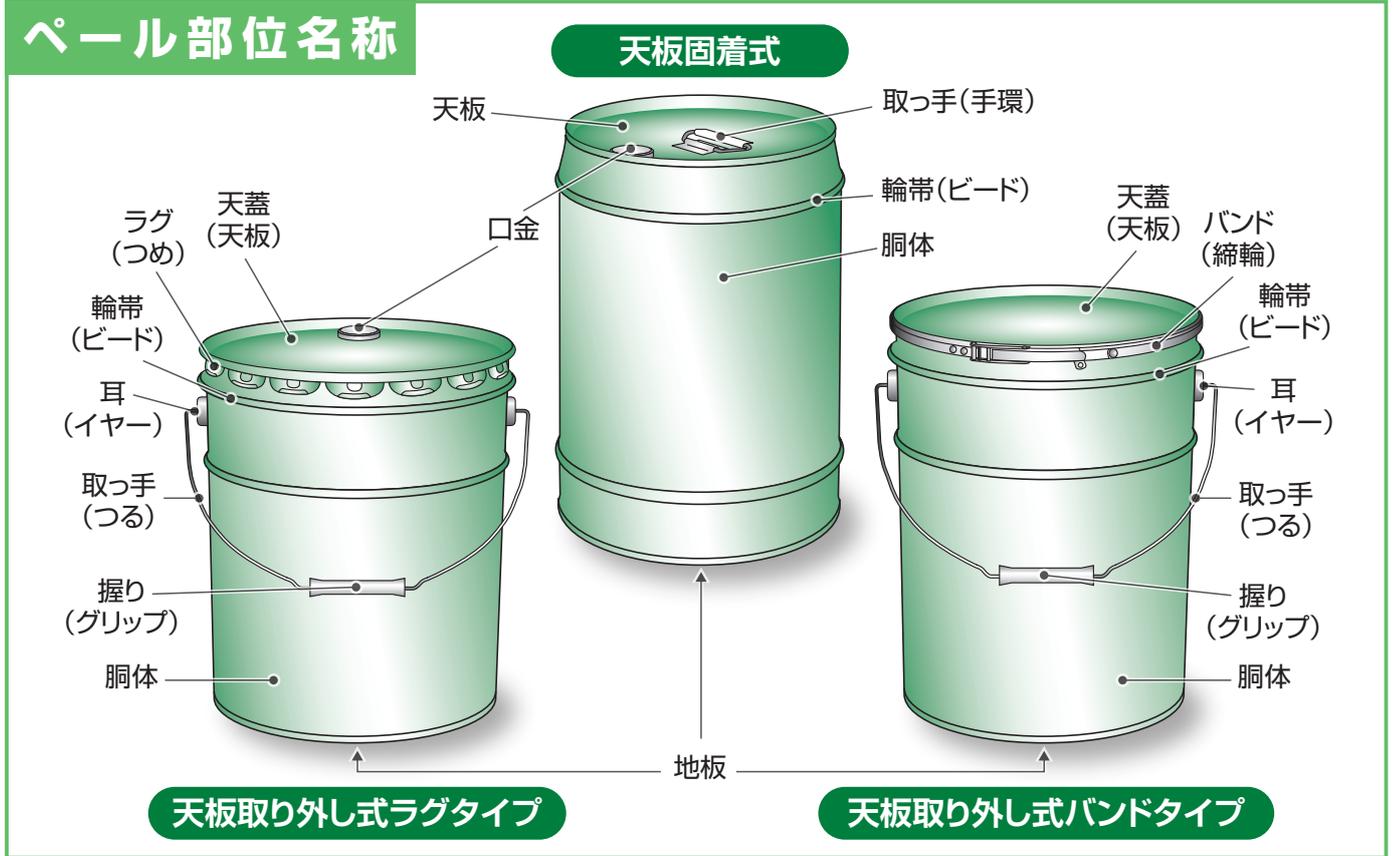
鋼製ペール (JIS Z 1620) 取扱上の注意

この注意事項は、**鋼製ペール**(以下ペールという)を正しくお使い頂き、
充填内容物の保護と取り扱う人への危害や損害を
未然に防止するためのものです



ドラム缶工業会

ここでは内容物運搬用に使用される、JIS Z 1620「鋼製ペール」に該当するペール、及びこれと同一内径で板厚・容量(高さ)のみが異なるペールを対象としています。



1. ペールの選定

1 内容物の性状に合ったペールを使用してください。

内容物によっては、ペールを腐食させたり、内容物に変色したりすることがあります。新規の内容物や、添加物を変更した内容物を充填してペールを使用する時は、ペールメーカーにお問い合わせください。

危険物については下記のリンク、二次元コードをご確認ください。
<https://www.jsda.gr.jp/assets/data/pail/240328kiken-youki.pdf>



一例

内面生地缶
(非塗装缶)



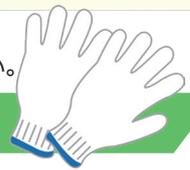
内面塗装缶
(ニス)



内面塗装缶
(グレー)



ペールの取扱いには
保護手袋を使用してください。



2. 基本要件

- 1 ペールは内容物の充填保管、運搬以外には使用しないでください。
例) ・踏み台にしないでください。
転倒の恐れがあります。
・内圧をかけないでください。
破裂することがあります。
- 2 ペールは一人で持ち運び可能な容器です。安全上、過度な重さにならないよう配慮ください。
- 3 ペールを床面で引きずらないでください。また落下や外部からの衝撃による変形を避けてください。内容物が漏れることがあります。



3. 充填前の保管

- 1 ペールは必ず屋内の平坦な床面に保管してください。
屋内であっても高温多湿や大きな寒暖差は避けてください。
錆発生の原因となりペールの劣化を早める恐れがあります。

ペールの
保管は？
積み重ねは？

ご相談
ください



- 2 保管したペールはできるだけ早期に使用してください。
目安として内面生地缶(非塗装缶)は**納入1週間以内**、
内面塗装缶は納入1か月以内でのご使用をお願い致します。

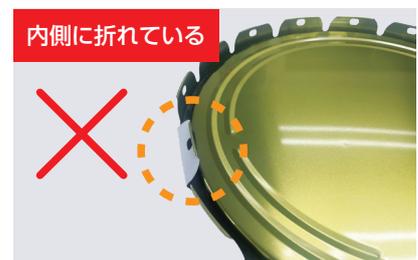


内面生地缶
納入1週間以内



内面塗装缶
納入1か月以内

- 3 ラグタイプの天板「つめ」は変形のないよう特にご注意ください。
「つめ」が変形した状態でご使用頂くと内容物漏れの恐れがあります。

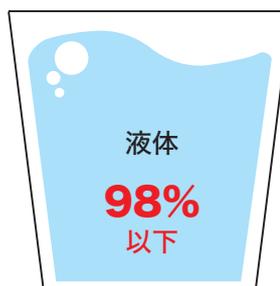


※箱の落下など変形の恐れがある場合は、ご使用前にご確認ください。

4. 充填

1 充填量は内容量に応じた適切な空隙を確保するようご注意ください。

消防法では危険物の場合の容器内容積に対する収納率を
液体では98%以下、固体では95%以下と規定しています。



2 高温の内容物を充填した場合、できるだけ常温に下がってから天板締めまたはキャップ締めを行ってください。

充填後、直ぐに密閉するとバキューム現象により缶が変形したり、外気水分を吸入する恐れがあります。



3 内容物が容器外部や嵌合部に付着した場合、ふき取ってから天板やキャップ類を締めてください。

液体の場合、付着したままで天板やキャップを締めると漏れが発生する場合があります。また、内容物により塗装の剥離や印刷の文字やマークなどが消えることがあります。



4 天板や口金キャップは漏洩を防ぐため正しくセットし締め付けてください。

- 口金キャップの締め付けには専用の締め機を使用し、片締めのないようにご注意ください。
- ドラム用口金のプラグの場合、パッキンの種類により復元力が違うため専用の器具を使用して、適切なトルクで締め付けてください。



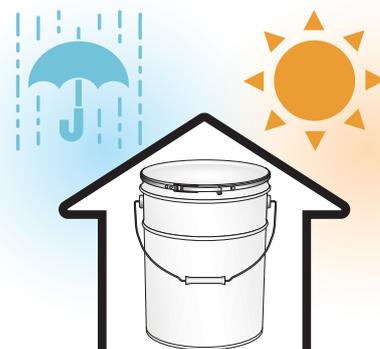
リユースへのご協力について

ペールに同梱する仮天板（保護天板）と天板梱包箱をご返却後、ペールメーカーで検品を行いリユースします。資源の有効活用や作業負荷軽減のため、変形や汚れのないようご協力をお願いいたします。



5. 充填後の保管

- ① 充填後の荷扱いでは特に天板締め部、口金部の変形・破損にご注意ください。漏洩の原因になります。取っ手はグリップ部を正しく持ち、垂直に持ち上げてください。
- ② パレットなどへの積載時にはつる取り付け部が隣の缶の胴体やつる取り付け耳（イヤヤー）に当たらないように注意してください。つるによる胴の穴あきやイヤヤー外れの原因になります。
- ③ 内容物を充填したペールは必ず屋内に保管してください。屋外に保管すると天板に雨水などがたまり、口金から侵入する恐れがあります。また発錆することがあり、外塗装膜が劣化し膨れや剥離、変色が発生することもあります。



NO!



取っ手を急激に強い力(600N以上)で引張らないでください。

屋内であっても温度上昇により、缶内圧が過剰に上がると、内容物漏れや変形の恐れがあります。



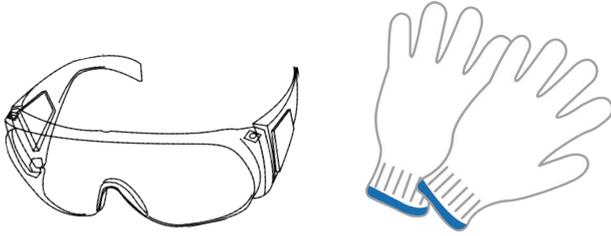
また過剰に温度が下がるとバキューム現象により缶体の凹み変形を起こしますのでご注意ください。

充填したペールの積み重ね高さは関係法令に基づき遵守してください。

6. 内容物取り出しの際の注意事項



①天板、バンド、キャップを取り外す時は保護手袋と適切な治具を使用してください。エッジ部などで手を切る恐れがあります。



金属プロテクターは取り外しの際に特にご注意ください。



②内容物取り出しの際、缶内に内圧が掛かっている場合は内容物が飛散する恐れがありますのでご注意ください。



③内容物取り出し、使用の一例



マイナスドライバーを使用します

ラグ天板の開け方



爪の穴にマイナスドライバーを差し込みます



マイナスドライバーを起こしてラグをペール缶より大きく広げます



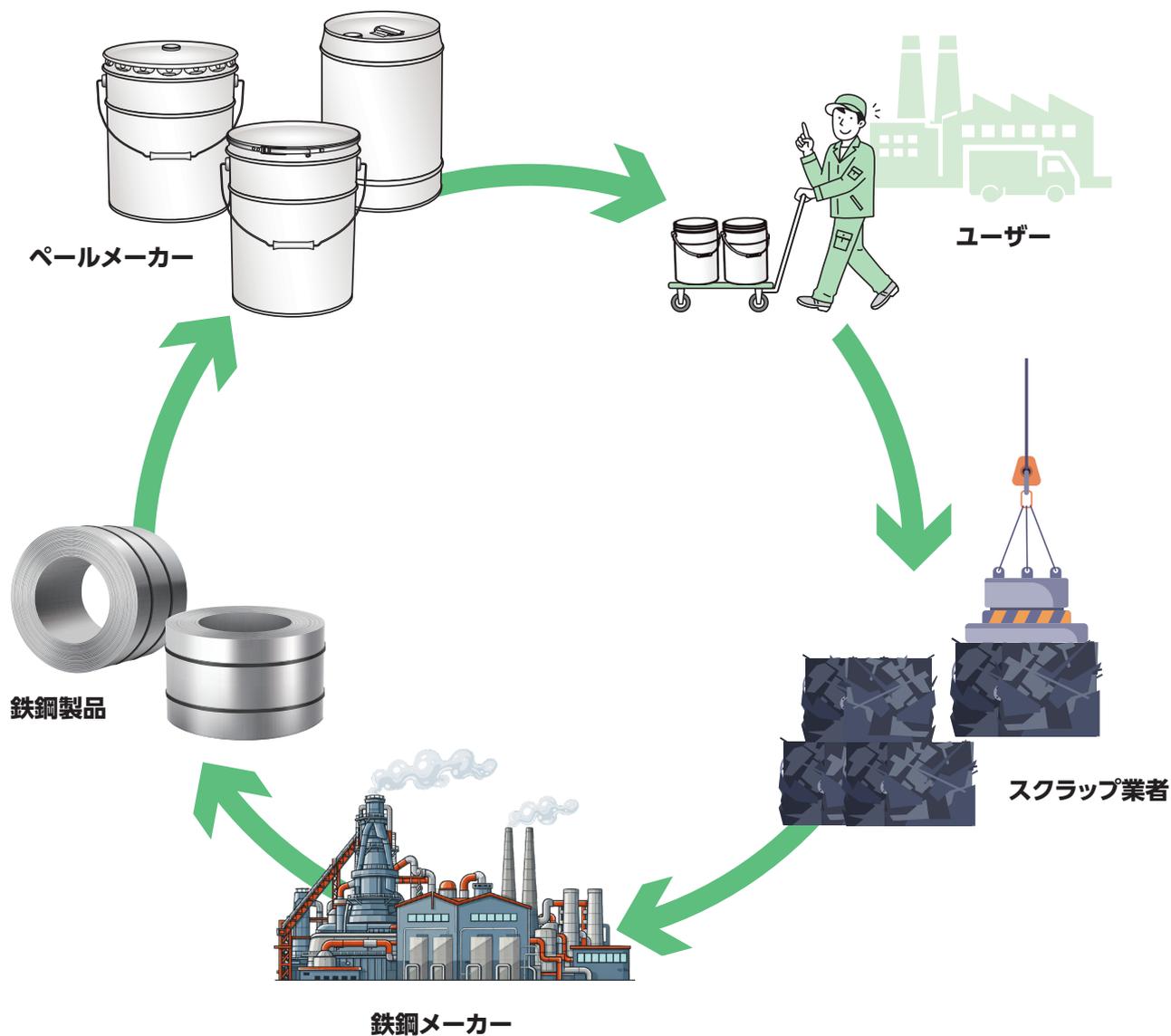
同様に全てのラグを広げます



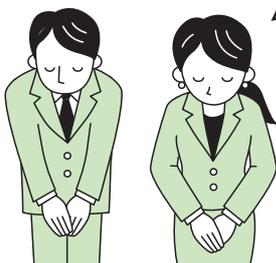
天板を外して中身を取り出します

7. 使用済みペールの廃棄

使用済みペールを廃棄する時は内容物を取り除いた後、関係法令（廃棄物処理法）に従い廃棄してください。使用済みペールは、適切に内容物を取り除かれたものは鉄スクラップとして回収され、鉄鋼メーカーで新たな鉄鋼製品としてリサイクルされます。



法令に従い、
適切に廃棄を
お願いいたします。





ドラム缶工業会

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町3-2-10(鉄鋼会館6階)

TEL 03-3669-5141 FAX 03-3669-2969

e-mail : drum.pail@jsda.gr.jp

URL : <https://www.jsda.gr.jp/>

ペール委員会会員会社

株式会社 ジャパンペール <https://www.j-pail.co.jp>

本社営業部 06-6535-1721

東京支店 03-5649-2212

新邦工業株式会社 <https://www.shinpo-kk.co.jp>

本社営業部 03-3861-5285

株式会社 長尾製缶所 <http://www.nagaocan.co.jp>

東日本営業部 03-5297-3068

西日本営業部 0737-52-8558

株式会社 前田製作所 <https://www.maedamfg.co.jp>

本社営業部 03-6690-3614

鋼製ペール(JIS Z 1620)取扱上の注意(2026年3月発行)

発行人 ドラム缶工業会

*無断での複製、転載はお断り致します。詳細はお問い合わせください。

本誌は環境に配慮した工程で印刷しています。